

水源の森を破壊し、土砂災害発生の危険を高める 山の尾根筋への「メガ風車」建設規制を国に求めます



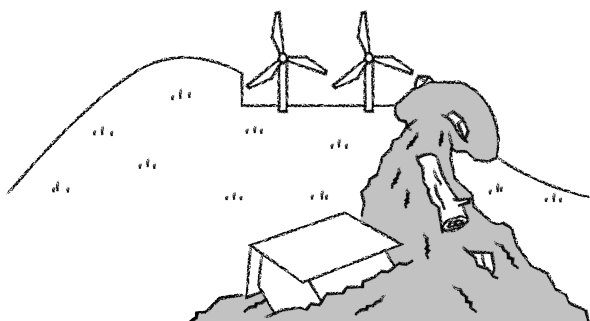
山の尾根にメガ風車を建てることは、将来の「**災害リスク増大**」と「**水源の喪失**」に直結します。地域住民だけでなく、全国の水源を守るために、多くの声を国に届ける必要があります。どうか皆さまのご賛同をお願いいたします。

問題点は何か？

山の尾根筋での広範囲の森林伐採により

●**斜面の安定性が低下** → 大雨の際には表層崩壊や土石流発生リスクが上昇

●**水源涵養機能が喪失** → 濁水・濁水のおそれが生じ、また生態系が破壊される



災害に強い森は一度壊されると元には戻りません。私たちは再エネ推進そのものに反対するものではありません。しかし、「立地の適正化」と「科学的・法的な安全確保」は必須です。

近年、日本各地の風況の良い山の尾根筋で、全高 150～190m 級の「メガ風車」の建設や計画が急増しています。

これらは再生可能エネルギー導入の一環として進められていますが、場所によっては水源涵養保安林（流域保全上重要な地域にある森林の河川への流量調節機能を高度に保ち、洪水を緩和したり、各種用水を確保する目的の保安林）の大規模伐採や、メガ風車を山の頂上部まで搬入するための最大幅 20m 以上の搬入路が急峻な地形を大きく切り開いて造成され、地域の生活環境・自然環境に深刻な影響が生じています。

解説動画➡



電子署名は
こちらから

水源の森を破壊し、土砂災害発生危険を高める 山の尾根筋への「メガ風車」建設規制を国に求めます

全国再エネ問題連絡会
全国 77 団体・個人

要望事項

- 1. 保安林内や土砂災害警戒区域および特別警戒区域付近での風力発電施設の設置を原則禁止に
- 2. 山岳部・尾根筋・水源地など環境・災害防止上重要な区域における風力発電計画への規制強化を
- 3. 自然保護地区周辺での風力発電計画における環境調査・評価の厳格化を

わが国の古来より育んできた美しい国土を保全する重要性を確認し、森林伐採や不適切な開発による環境破壊、及び災害リスクを抑制するために、尾根筋・水源地・自然保護地区周辺での「巨大風力発電計画」の立地規制を求めます。

氏名	ご住所（都道府県から。「同上」「〃」不可）